

問1 江戸時代、金貨が主に流通した東日本と、銀貨が主に流通した西日本の間で、異なる貨幣を計算して交換することを何という？

1. 両替 2. 掛屋 3. 蔵元 4. 仲買

問2 江戸幕府が実施した、樺太や間宮海峡の地理的状況を明らかにするための調査を何という？

1. 岩倉使節団 2. 遣唐使 3. 天正遣欧使節 4. 北方探査

問3 16世紀に、日本がスペインやヨーロッパの諸国と行った貿易を何という？

1. オランダ 2. イギリス 3. スペイン 4. ポルトガル

問4 江戸幕府が諸大名を統制するために、将軍が大名に対して義務づけた、江戸と国元を往復させる制度を何という？

1. 禁中並公家諸法度 2. 参勤交代 3. 本末制度 4. 武家諸法度

問5 江戸時代、海上交通網の整備により物資が活発に流通し、「天下の台所」と呼ばれて経済の中心地として栄えた都市を何という？

1. 大阪 2. 江戸 3. 長崎 4. 京都

問6 江戸幕府が大名を統制するために定めた法律を何という？

1. 御成敗式目 2. 武家諸法度 3. 寺院諸法度 4. 禁中並公家諸法度

問7 公事方御定書を制定した人物は誰？

1. 3代将軍 2. 8代将軍 3. 5代将軍 4. 11代将軍

問8 江戸時代、参勤交代などによる人や物の往来のため、江戸を起点として整備された主要な五つの街道を何という？

1. 脇本陣 2. 本陣 3. 五街道 4. 宿駅

問9 異国船打払令により、かえって関係が悪化し、開国を求める圧力を強めたのはどこ？

1. 欧米諸国 2. 琉球 3. 清 4. 朝鮮

問10 菱川師宣の代表作で、江戸時代前期の元禄文化を象徴する肉筆画を何という？

1. 見返り美人図 2. 東海道五十三次 3. 富嶽三十六景 4. 風神雷神図

問11 江戸時代前期、上方を中心に栄えた、町人が担い手となった華やかな文化を何という？

1. 化政文化 2. 東山文化 3. 室町文化 4. 元禄文化

問12 江戸幕府が、大名を統制して幕藩体制を安定させるために定めた法令を何という？

1. 禁中並公家諸法度 2. 一国一城令 3. 武家諸法度 4. 寺院法度

問13 幕府がキリスト教禁止を徹底するために禁止した、ある国からの船の来航を何という？

1. ポルトガル船の来航 2. 南蛮貿易の開始 3. 鉄砲伝来 4. キリスト教伝来

問14 田沼意次が年貢以外の収入を増やすために奨励した、商人による営業の独占を認める組織を何という？

1. 問屋 2. 組合 3. 株仲間 4. 両替商

問15 井原西鶴が確立した、町人の生活や感情を写實的に描いた小説形式を何という？

1. 俳諧 2. 浮世草子 3. 人形浄瑠璃 4. 歌舞伎

答え合わせ・解説

問1	答え 1 両替	異なる貨幣を用いる商人や藩同士が取引を行うためには、金と銀の交換が必要不可欠でした。この交換業務を専門に行うのが両替商です。彼らはただ交換するだけでなく、預金を受け入れたり、為替を発行して遠方への送金を代行したりする金融機関のような役割も果たしました。
問2	答え 4 北方探査	幕府の命を受けた間宮林蔵は、樺太が島であることを発見し、大陸との間の海峡（のちに間宮海峡と命名）を確認しました。この成果により、北方の海図や地理知識が飛躍的に向上しました。
問3	答え 4 ポルトガル	ポルトガル人は1543年に種子島へ漂着し、日本に鉄砲を伝えました。また、フランシスコ・ザビエルらによってキリスト教も日本に伝わりました。これらヨーロッパ諸国との貿易を、当時の日本人は南蛮貿易と呼びました。
問4	答え 2 参勤交代	諸大名は1年おきに自分の領地と江戸を往復しなければなりません。また、大名の妻子を江戸に住まわせることも義務付けられました。これにより大名は江戸への移動費や滞在費で多くの出費を強いられ、軍事を蓄える余裕を失うとともに、幕府への忠誠を誓う形となりました。
問5	答え 1 大阪	大阪は、諸藩の蔵屋敷が立ち並び、全国各地の年貢米や特産物が集まる流通拠点として機能しました。これにより「天下の台所」と称され、米の相場が決まるなど経済の中心地となりました。
問6	答え 2 武家諸法度	江戸幕府が制定した大名の行動規範となる法律です。勝手に城を修理することや、大名同士が勝手に婚姻関係を結ぶことなどを禁止し、違反した場合は領地の没収や取り潰しなどの厳しい処分が下されました。これにより、幕府は大名の上位に立つ絶対的な存在として権力を維持しました。
問7	答え 2 8代将軍	吉宗は、政治の安定のためには公平な裁判制度が必要だと考え、1742年に裁判の基準となる「公事方御定書」を制定しました。これにより、それまで曖昧だった処罰の基準が明文化されました。
問8	答え 3 五街道	五街道とは、東海道・中山道・日光街道・奥州街道・甲州街道の五つを指します。幕府は街道に宿場を整備し、旅人のための施設や公用交通のための仕組みを整えました。これにより物流が活発化し、江戸の街には全国から特産品が集まるようになりました。
問9	答え 1 欧米諸国	日本が異国船打払令によって外国船を撃退しようとしたことは、欧米諸国にとって敵対的な行為と受け取られました。特にイギリスやアメリカなどの国々は、これに対して強い不満を抱き、軍力を用いた開国要求を強める一因となりました。
問10	答え 1 見返り美人図	「見返り美人図」は、後ろを振り向く美しい女性の姿を描いた作品で、当時の人々の服装や髪型、美意識を伝えています。浮世絵師・菱川師宣の傑作として知られ、細やかな筆致が特徴です。
問11	答え 4 元禄文化	この文化は、京都や大坂などの上方を中心に発展しました。文学では井原西鶴が浮世草子を書き、近松門左衛門が人形浄瑠璃の脚本を手がけました。また、絵画では菱川師宣の浮世絵や、尾形光琳の華やかな工芸品が生まれました。
問12	答え 3 武家諸法度	この法令は、大名の城の修築や結婚、さらには私的な合戦などを幕府の許可制にするなど、大名の権力を削ぎ落とす内容が盛り込まれました。特に、軍事力や政治力を制限することで、幕府への反逆を防ぐ狙いがありました。
問13	答え 1 ポルトガル船の来航	幕府は、この一揆を鎮圧した後、キリスト教の教えを広める拠点となっていたポルトガル人たちの影響を完全に排除するため、ポルトガル船の来航を禁止しました。これにより鎖国体制がより一層強化され、日本との貿易はオランダや中国などに限定されることとなりました。
問14	答え 3 株仲間	株仲間は、幕府から営業の独占権を認められる代わりに、営業税である運上金や冥加金を幕府に納める組織です。田沼意次はこれを公認し、流通を管理させることで幕府の収益を増やそうとしました。都市の商業活動を組織化し、経済的な活力を引き出す仕組みでした。
問15	答え 2 浮世草子	井原西鶴は、『日本永代蔵』などの作品を通じて、町人の現実的な生活や経済活動、あるいは人間関係をリアルに描く「浮世草子」というジャンルを確立しました。それまでの物語とは異なり、読者である町人の共感を呼ぶ親しみやすい内容でした。